

様式1 令和元年度 清瀬市立第四中学校 学校評価計画

学校の教育目標	人間尊重の精神に徹し、自己の能力伸長と人間形成に努める人を育成する。 1創造 2温情 3実践 4健康	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動
目指す学校像(ビジョン)	生徒が学校に来ることが楽しいと思える、一人一人が生き生きと学び合う学校	【育成を目指す資質・能力】 ☆「考え、判断し、表現できる力」…①「主体的・対話的で深い学び」の授業を年間通して継続的に行う。 ②「対話的」な授業においては、授業者がファシリテーターとしての資質を身に付ける。そのための研修に努める。 ☆学校支援本部の立ち上げ…地域の人材活用により以下の教育活動を行う。 ①四中数学ルームの継続(基礎・基本の定着) ②四中未来塾の設立と運営(発展的な力の養成)
【目指す学校像】	生徒が学校に来ることが楽しいと思える、一人一人が生き生きと学び合う学校	
【目指す児童・生徒像】	自ら進んで学ぶことができる、心温かい、実践力のある、健康な生徒。	
【目指す教師像】	生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることができる、教育に情熱をもち、生徒と共に成長しようとする教師。	

前年度までの学校経営上の成果と課題
【成果】「対話的」な授業を展開し、各教員一人ひとりが課題に向けて挑戦を始めた。
【課題】「主体的・対話的で深い学び」へのさらなる研究とその実践。形成的評価における基準とその方法(ルーブリック評価)への取組の必要性。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の授業形態を確立し、生徒が自ら考え、表現する授業を実践することで、確かな学力の定着と向上を図る。 基礎・基本的な学習内容を確実に身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して、自ら考え、自分から取り組む生徒を育成する。 話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができる生徒を育成する。 基礎・基本の確実な定着を図るための学習サポート体制を作り、チーム学校として取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元に1回以上、個人グループ個人など、「一人で考える」と「対話的に考える」授業を設定する。 全校体制で長期休業中や放課後、質問教室や補習授業を実施する。 大学インターンシップ生を支援員として補習教室(四中数学ルーム)を実施する。 	4 全学年全学級で完全実施	4 話し合いで理解が深まったと感じている生徒が90%以上
				3 実施率90%以上	3 話し合いで理解が深まったと感じている生徒が80%以上
				2 実施率80%以上	2 話し合いで理解が深まったと感じている生徒が70%以上
				1 実施率80%未満	1 話し合いで理解が深まったと感じている生徒が70%未満
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中の一人であることを意識させ、温情豊かな人間性と社会性を育て、生命尊重の理念を正しく理解できる生徒を育成する。 爽やかな挨拶、適切な言葉遣い、ルールを守る、時間を守る、人に迷惑をかけない、身だしなみなど基本的な生活習慣の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える道徳、議論する道徳を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 35時間のうち、各学期に3回以上は議論する道徳の授業を行う。 授業の中で変容を認め、励ます評価を行う。 教員が率先して、挨拶や適切な言葉遣いを励行する。迷惑をかけるような場面では、厳しく、粘り強い指導をしていく。 	4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	4 生徒の自己評価で肯定的回答90%以上
				3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上	3 生徒の自己評価で肯定的回答80%以上
				2 教職員の取組評価で肯定的回答70%以上	2 生徒の自己評価で肯定的回答70%以上
				1 教職員の取組評価で肯定的回答70%未満	1 生徒の自己評価で肯定的回答70%未満
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活習慣を確立させる。 健康的な生活の基盤作り 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育・食育のさらなる充実化を目指す。 健康・安全の推進を行う。 体育的な行事に向けての取組を重視する。 部活動の積極的な参加を促し、体力向上の促進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活習慣(早寝早起き) 各学年の食育の授業の実施。 セーフティ教室及び薬物乱用防止教室の実施 運動会や球技大会等で生徒自らが進んでスポーツに参加する。 技能の向上を目指し、大会等を通して練習を積み上げる。 	4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	4 生徒の授業評価で肯定的回答90%以上
				3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上	3 生徒の授業評価で肯定的回答80%以上
				2 教職員の取組評価で肯定的回答70%以上	2 生徒の授業評価で肯定的回答70%以上
				1 教職員の取組評価で肯定的回答70%未満	1 生徒の授業評価で肯定的回答70%未満
本校の特色①	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援本部を立ち上げ、地域の人材活用を図る。 本を読むことが好きな生徒の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 検定試験の対策教室を開室し、その支援者を地域より募る。 読書活動を活性化させ、思考力、語彙力、表現力、創造力の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字検定、数学検定、英語検定の学習の場(四中未来塾)を設け、発展的な学習を援助する。毎週水曜日に実施する。 年間を通して朝読書を実施するとともに、学期ごとの読書推進月間を設定する。図書委員会の活動の一環として、ピブリオバトルを実施して、言語活動を活性化させる。 	4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	4 生徒の自己評価で肯定的回答90%以上
				3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上	3 生徒の自己評価で肯定的回答80%以上
				2 教職員の取組評価で肯定的回答70%以上	2 生徒の自己評価で肯定的回答70%以上
				1 教職員の取組評価で肯定的回答70%未満	1 生徒の自己評価で肯定的回答70%未満
本校の特色②	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域との連携を深め、郷土愛を育成する。 地域との交流活動を進め、合同清掃活動やボランティア活動を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事に地域の高齢者を招待する。また近隣の施設や特別支援学校に出向き、積極的に交流活動を進める。 校内外の環境美化活動を通し、保護者・地域との交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会、合唱コンクールに地域の方や高齢者を招待し交流を深める。箏曲部・吹奏楽部が、演奏会を実施する。 学校のアースデーの活動(環境美化、花植え、芝生ボランティアなど)を保護者・地域と連携し、環境美化を通して家庭・地域との交流を深める。 	4 実施回数年間5回以上	4 保護者・地域関係者の満足度90%以上
				3 実施回数年間4回以上	3 保護者・地域関係者の満足度80%以上
				2 実施回数年間3回以上	2 保護者・地域関係者の満足度70%以上
				1 実施回数年間3回未満	1 保護者・地域関係者の満足度70%未満
				4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	4 アースデー参加者(+保護者等)が延べ300人以上
				3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上	3 アースデー参加者(+保護者等)が延べ200人以上
				2 教職員の取組評価で肯定的回答70%以上	2 アースデー参加者(+保護者等)が延べ100人以上
				1 教職員の取組評価で肯定的回答70%未満	1 アースデー参加者(+保護者等)が延べ100人未満